

# FORZA 駒澤 Vol.12

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1  
 駒澤大学マスコミ研究所内「駒人スポーツ」サッカー班  
 Eメール forzakomazawa@hotmail.com  
 TEL・FAX 03(3418)9556 発行人 熊崎雅之

国士館・板橋に圧倒的な高さで競り勝つ小林久。  
 この日は不運な失点に絡んだが、苦しいシーズンをキャプテンとして精神面で支えつづけた(岩田陽一撮影)



4年間連続出場賞を受賞した津村。今季終盤からは自ら「得意ではない」と語るボランチで駒大のために懸命なプレーを見せた



# 国士館に目前優勝許すも 4位でインカレ出場権獲得

10月28日 14:30 西が丘サッカー場  
**駒大1(0-2)1国士大**  
 勝点18→19 勝点26→27

【国】26分:齋藤竜  
 【駒】89分:津村典明

KOMAZAWA	KOKUSHIKAN
GK①桜井繁(4)	GK①宮澤仁(4)
DF②木村誠(4)	DF①齋藤竜(4)
DF③小林久晃(4)	DF②松田和之(4)
DF④那須大亮(2)	DF③村山祐介(2)
DF⑤三上卓哉(4)	DF④相馬崇人(2)
MF⑥津村典明(4)	MF⑤田阪祐治(3)
MF⑦増富真也(3)	MF⑥藤沼清登(2)
(45分⑧中田洋介(2))	MF⑦渡辺誠(3)
MF⑧高橋健次(4)	(82分⑧景山健司(3))
(72分⑨金位漫(4))	MF⑨山根伸泉(4)
MF⑩森田真実(4)	FW⑩清川洋平(4)
FW⑪巻誠一郎(3)	FW⑪板橋裕也(4)
FW⑫深井正樹(3)	(70分⑫白尾秀人(3))
S U B	S U B
GK⑬新沼泉(3)	GK⑬北一真(2)
DF⑭松田大輔(3)	DF⑭大槻邦雄(4)
DF⑮小林亮(1)	DF⑮富山卓也(3)
MF⑯中後雅喜(1)	MF⑯藤井庄一(4)
FW⑰古川健介(4)	MF⑰清水康也(1)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 大澤英雄

警告(C)/退場(S)

【駒】30分:高橋健次(C)  
 【国】52分:齋藤竜(C)

<シュート>10:9<枠内シュート>5:4  
 <決定機>4:4<GK>10:10<CK>5:5  
 <PK>0:0<直接FK>15:25<間接FK>7:0  
 <OS>7:0<主審>穴沢努<観衆>約1500人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です



JR東日本カップ2001 第75回関東大学サッカーリーグ戦(後期) 1部リーグ第14節

## 駒澤大学1-1国士館大学



3年ぶりの優勝を飾った国士館大学。コーチを務める元日本代表の柱谷哲二氏も宙に舞った

悔しさ種に次なる戦いへ  
 引き分け以上で優勝が決まる国士大と目前優勝を許すまいと意気揚がる駒大。1年前の最終戦同様、冷たい雨が降りしきる西が丘で二つの熱き想いが衝突した。前半、その想いが上回っていたのは国士大。中盤でセカンドボールを拾えずリズムを掴めない駒大に對して、国士大は悪条件下でも確かな技術と板橋を中心とした意思ある攻撃で駒大ゴールに迫った。先制点は26分。駒大

D Fのクリアミスが最後は国士大の体には当たらず、ボールは無情にもゴールへ吸い込まれた。1点のビハインドで前半を折り返した駒大は流れを変えるべく増富に代え中田を投入。直後に迎えた巻の決定機を皮切りに、駒大は徐々に本来の姿を取り戻した。しかしチャンスは作るも得点を奪うには至らずこのまま試合終了かと思われた89分、津村のフリーキックが直接決まり辛うじてドローに持ち込んだ。

### ☆第14節終了時点順位表☆(全日程終了)

順位	チーム名	勝	負	分	得	失	差	勝点
1	国士館大学	8	3	3	23	15	+8	27
2	筑波大学	7	2	5	31	16	+15	26
3	順天堂大学	5	4	5	23	14	+9	20
4	駒澤大学	4	3	7	28	22	+6	19
5	東京学芸大学	5	6	3	14	20	-6	18
6	青山学院大学	6	8	0	15	27	+12	18
7	慶応義塾大学	3	7	4	10	22	-12	13
8	中央大学	1	6	7	9	17	-8	10

れながら皮肉にも国士大に目前優勝を許すという結果を迎えた今シーズン、「4位という結果は納得していない」(深井)という想いは選手全員が抱いているに違いない。「勝ちきることの重要性を学んだチームは大いなる野望を抱いて次なる戦いへ挑む。(山口)

**深井ベストイレブン!!**  
 チーム最多となる7得点を挙げた深井正樹(3年)が昨季に続いてベストイレブンを受賞。しかしうれしげで、自分は何もしていないので...と渋い表情だった。